声明

**安倍・菅政治継承の岸田政権では国民のいのちと健康と暮らし、生業は守れません。**

**市民と野党の共闘の力で、総選挙で憲法を生かす政権を!**

10月4日の臨時国会で自民党の岸田文雄氏が第100代首相に選出されました。

岸田氏は9月29日投開票で行われた自民党総裁選で、憲法改正については安倍政権で策定した自衛隊の明記や緊急事態条項新設など改憲４項目について、「どれも現代的な意味で重要な改正だ。自衛隊の明記は、違憲論争に終止符を打つ大変重要な課題だ。総裁在任中に改憲の実現をめざす」と改憲推進を掲げました。

外交では、「台湾海峡の安定、香港の民主主義はその試金石だ」と強調、「自由で開かれたインド太平洋構想」の継承を宣言。安全保障では、敵基地攻撃能力保有について「有力な選択肢だ」と語り、議論を進める考えを示しました。また、経済政策では、安倍政権下で始まった大規模な金融緩和と巨額の財政支出、成長戦略の3本柱を維持する考えを示しました。

さらに、原発再稼働や大軍拡の推進をかかげ、コロナ対策では菅政権同様、検査の抜本的拡大は実行せず、原則自宅療養の方針も撤回せず、相変わらず無為無策の対応を続けようとしています。一方で選択制夫婦別姓実現は先送りし、日本学術会議会員の任命拒否は撤回せず、さらに国政私物化疑惑究明には背を向けています。

　このように岸田政権は、掲げたどの政策を見ても明らかなように、憲法をないがしろにしてきた安倍・菅政治の継承そのものです。

そして、今回の自民党総裁選では、安倍晋三氏がキングメーカーと言われるような影響力が示しました。岸田氏は「桜を見る会」前夜の夕食会を巡る疑惑に関し、「安倍氏自身による説明が重要だ」と語っていましたが、総裁選中に「再調査は必要ない」と事実上撤回してしまったほか、「3A」の人物を副総裁・幹事長にする自民党役員人事でも明らかなように、「安倍傀儡(かいらい)政権」の様相を呈しています。

首相になるために安倍・菅政治の継承を選択した岸田新首相では、コロナ危機で浮き彫りになった政治の行き詰まりを打開することはできません。国民の願う政治は実現しないことは明らかです。

9月8日の市民連合と4野党の6柱20項目の政策合意で総選挙をたたかう旗印が立ち、立憲民主党と共産党は政権交代が実現した場合に共産党が「限定的な閣外協力」を行うとの方針で合意するなど野党間での政権協力に向けた具体的な協議も進んでいます。さらに、各地で野党統一候補も決まって来ています。こうした動きのなかで、首班指名選挙では、4野党が枝野氏に投票しました。

今必要なことは、市民と野党の共闘で政権交代に本格的に挑戦する初めての総選挙で、自・公・維新に鉄槌を下して勝利し、新たな政権を誕生させ、国民のいのちと健康と暮らし、生業を守る政治、憲法を守り生かす新しい政治を実現することです。

総選挙勝利に向け、全力で奮闘し合いましょう。

　　 　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　2021年10月4日

　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　憲法会議（憲法改悪阻止各界連絡会議）

〒101-0051　東京都千代田区神田神保町2-32　金子ビル103

℡03-3261-9007　Fax03-3261-5453　メールアドレス：mail@kenpoukaigi.gr.jp